

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】令和3年8月12日(2021.8.12)

【公開番号】特開2019-85041(P2019-85041A)

【公開日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2019-021

【出願番号】特願2017-216441(P2017-216441)

【国際特許分類】

B 6 4 C 13/20 (2006.01)

B 6 4 C 27/08 (2006.01)

B 6 4 C 39/02 (2006.01)

G 0 5 D 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 C 13/20 Z

B 6 4 C 27/08

B 6 4 C 39/02

G 0 5 D 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月29日(2021.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ドローンと通信を行う端末から前記ドローンを操作するための方法であって、

前記端末が、そのタッチパネル式表示画面から、前記ドローンの飛行高度の選択を受け取るステップと、

前記端末が、前記タッチパネル式表示画面から、前記ドローンの離陸を指示する入力を受け取るステップと、

前記端末が、前記ドローンに対し、前記飛行高度での飛行を指示する離陸命令を送信するステップと、

前記端末が、前記タッチパネル式表示画面から、前記ドローンの着陸を指示する入力を受け取るステップと、

前記端末が、前記ドローンに対し、前記着陸を指示する着陸命令を送信するステップとを含み、

前記ドローンに対する一時停止命令を前記ドローンの着陸動作中に送信可能であることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記ドローンの飛行高度を変更するための高度変更命令を前記ドローンの飛行中に送信可能であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記入力は、着陸地点の入力を含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記ドローンを水平移動させないことを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

端末に、ドローンと通信を行う前記端末から前記ドローンを操作するための方法を実行させるためのプログラムであって、前記方法は、

前記端末が、そのタッチパネル式表示画面から、前記ドローンの飛行高度の選択を受け取るステップと、

前記端末が、前記タッチパネル式表示画面から、前記ドローンの離陸を指示する入力を受け取るステップと、

前記端末が、前記ドローンに対し、前記飛行高度での飛行を指示する離陸命令を送信するステップと、

前記端末が、前記タッチパネル式表示画面から、前記ドローンの着陸を指示する入力を受け取るステップと、

前記端末が、前記ドローンに対し、前記着陸を指示する着陸命令を送信するステップとを含み、

前記ドローンに対する一時停止命令を前記ドローンの着陸動作中に送信可能であることを特徴とするプログラム。